

## 6. ハブ咬症対策

ハブの活動が活発になる頃に、ポスターやリーフレット等により地域住民へ注意を呼びかけ、咬症被害の防止に努める。

管内の医療機関からのハブ咬症患者の報告を受け、県薬務衛生課、ハブ研究所に報告する。  
管内における平成16年の咬傷患者報告数は、6人で前年に比べ3人減であった。  
咬症患者は春先に多く、県全体でも春先、また秋に咬症が多い。

表1 過去12年間の市町村別ハブ咬症患者数

	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
名護市	10	10	7	8	3	8	11	4	7	3	3	4	2
本部町	7	6	5	4	2	4	3	3	2	1	4	2	0
国頭村	4	6	3	1	3	1	6	1	8	2	0	1	2
大宜味村	5	2	6	0	0	2	2	1	0	1	1	0	1
東村	6	3	2	1	3	1	2	0	1	0	0	1	1
今帰仁村	4	3	1	3	6	4	8	4	4	0	2	1	0
伊江村	0	0	2	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0
伊平屋村	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	2	1	6	4	0	3	4	1	1	2	1	0
計	40	32	28	27	21	20	36	19	23	8	12	11	6
沖縄県計	152(1)	159	157	157	137	135	140	115	135	97	93	93	68

\*咬症者の住所別分類である。(咬症場所の市町村ではない)

その他の欄は管内で咬症した管外市町村の者である。

( )は死亡者内数

沖縄県合計欄は、衛生環境研究所の統計資料に拠る。

表2 平成15年の月別ハブ咬症患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
管内					2		1			1	2		6
県内	3	1	1	5	8	7	5	3	13	11	8	3	68

